

■種田山頭火 俳人。家庭の事情から精神的な苦衷を重ねて出家、行乞放浪の生活の中で、自由律の独自の俳句を詠んだ。

たねださんとうか

新体詩抄・1882＝ 山口県防府の広大な邸宅を持つ大地主の家に生まれる。

帝国憲法発布1889＝ 7歳：尋常小学校に入学。

足尾鉍毒始・1891＝ 9歳：

大本教・・・1892＝10歳：父の遊蕩が原因で母が自宅の井戸で投身自殺。しかし改まらず、祖母の手で育てられる。

郡司千島探検1893＝11歳：高等科に進む。

日清戦争始・1894＝12歳：

白馬会・・・1896＝14歳：卒業し、私立の周陽学舎に入学、学友と回覧雑誌を発行。

Bushidou・・・1899＝17歳：首席で卒業し、県立山口尋常中学校4年に編入、山口市内に下宿。

ビア/国産化・1900＝18歳：

田中正造直訴1901＝19歳：卒業して上京し、私立東京専門学校高等予科に入学。

教科書疑獄・1902＝20歳：卒業し、早稲田大学大学部文学科に入学。

日露戦争始・1904＝22歳：神経衰弱により退学し、療養のため帰郷。

日露戦争終・1905＝23歳：

満鉄発足・・・1906＝24歳：父が家業に失敗し、吉敷郡の酒造場を買収、一家で移り住み、

韓国反日暴動1907＝25歳：種田酒造場を開業。

伊藤博文暗殺1909＝27歳：結婚。

韓国併合・・・1910＝28歳：長男誕生。無軌道に酒を飲み始める。

大逆事件判決1911＝29歳：郷土文芸誌{青年}に参加、山頭火の号で翻訳など発表、俳友と交流。

明治天皇没・1912＝30歳：当分一切の文芸から遠ざかると宣言。

大正政変・・・1913＝31歳：*荻原井泉水に師事、自由律の俳句誌{層雲}に初出句。個人雑誌{郷土}を創刊。

第一次大戦始1914＝32歳：_山口を訪れた井泉水と初対面。回覧雑誌の椋鳥句集{自画像}を主宰、防府俳壇の中心的存在となる。

民本主義・・・1916＝34歳：種田家が破産、妻子を連れて熊本に至り、古書店を開く。_ {層雲}の選者になる。

俳人との交流は続き、熊本歌壇が活発で、短歌会にも出る。

本格政党内閣1918＝36歳：弟が岩国の山中で縊死、現地へ急行。祖母は孤独のうちに死去。

べしね条約・1919＝37歳：単身上京し、東京市セメント試験場でアルバイト。

大暴落・・・1920＝38歳：アパート隣室のロシア人亡命者と交わる。離婚。東京市役所臨時雇として図書館に勤務。

原敬首相暗殺1921＝39歳：父が死去。正式に東京市事務員となる。

水平社結成・1922＝40歳：神経衰弱のため退職。

関東大震災・1923＝41歳：関東大震災に被災し避難中、憲兵に拉致され、留置される。熊本に帰る。

護憲三派圧勝1924＝42歳：_酒に酔って電車を急停車させ、寺に連行される。これを機縁に禅門に入る。

治安維持法・1925＝43歳：_出家得度し、植木町の観音堂の堂守となるが、作風も一変し、

円本時代始・1926＝44歳：*_分け入っても分け入っても青い山*_と詠み、生涯にわたる行乞放浪の生活をはじめた。

金融恐慌・・・1927＝45歳：

四国・中国・九州各地を廻り、俳友と交流したり、かつての妻が続けている熊本の古書店を訪れ、また、個人誌{三八九}を断続的に出したりする。

満州事変・・・1931＝49歳：

五一五事件・1932＝50歳：*第一句集「鉢の子」刊。

国際連盟脱退1933＝51歳：{三八九}が第6集で終刊。_第二句集「草木塔」刊。

帝人疑獄事件1934＝52歳：一時入院、長男の訪問を受け、以後、飯塚に度々訪問。

芥川直木賞始1935＝53歳：_第三句集「山行水行」刊。自殺未遂。死場所を求めて、東上するが、

二二六事件・1936＝54歳：_引き返し、第四句集「雑草風景」刊。東京で{層雲}の全国大会に参加。平泉、新潟、永平寺など巡る。

日中戦争始・1937＝55歳：_第五句集「柿の葉」刊。山口で泥酔無銭飲食のため警察署に留置される。

第二次大戦始1939＝57歳：_第六句集「孤寒」刊。

大政翼賛会・1940＝58歳：*自選の一代句集「草木塔」を刊行。"うしろすがたのしぐれてゆくか" "ひっそり咲いて散ります"それを俳友たちに呈する旅に出る。第七句集「鴉」刊。四国松山の庵で脳溢血に倒れ、没した。